

第 49 回札幌アイスホッケー選手権大会開催要項

- 1 主 催 一般財団法人札幌アイスホッケー連盟
- 2 期 日 令和 7 年（2025 年）10 月 4 日（土）～令和 7 年 11 月 3 日（月・祝）
（参加チーム数により、大会期間を変更する場合がある）
※土曜日・祝日 17：45・19：30・21：15／日曜日 08：30～21：15 の各貸出枠
- 3 会 場 札幌市月寒体育館・星置スケート場
- 4 参加資格 令和 7（2025）年度一般財団法人札幌アイスホッケー連盟に登録した、一般・大学チームの選手及び役員とする。
- 5 競技方法
 - （1）試合は原則、各プール 4 チームでの総当たりのリーグ戦とする。
（プールの数は参加チーム数により増減する。）
 - （2）第 48 回札幌アイスホッケー選手権の結果を元に各プールの振り分けを行う。
 - （3）A・B プール及び大学生プールはボディーチェックあり。
C プール以下は女子ルールにより 試合を実施する。
 - （4）大学プールが編成できない場合は、各プールに振り分ける。
 - （5）大会申込後の選手の追加については、連盟登録を完了した上で、大会開催期間前及び開催期間中のリンクアサインミーティング時（9/19・10/20）に他チームへの報告以降（登録が完了している旨を伝えられる状態）に認める。
 - （6）勝利チームは勝点 3、引分けは両チームに勝点 1 を与える。順位決定は勝点により行い、勝点が並んだ場合においては①「当該チームの対戦結果」②「得失点差」③「ペナルティーの少ない順」で順位を決定する。
- 6 競技規則
 - （1）原則、IIHF 国際競技規則に基づく。一部ローカルルールを適用する。
（眼鏡使用時はフルフェイスマスク着用とする等）
 - （2）競技時間は 5 分間の練習のあと各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分とする。90 分以内（リンク貸出枠）に試合が終了できない場合、オフィシャルの合図で終了とする。（タイムアウトはなし）
 - （3）試合開始前整列時に GK を含む 6 名の選手が氷上に集合しない場合、当該チームは不戦敗となり、没収試合とし対戦成績は 0：15 となる。
また、試合開始後にペナルティー又は怪我など何らかの理由でいずれかのチームが GK を含む 6 名の選手を氷上に揃える事が出来なくなった場合、その時点で当該チームは途中棄権・没収試合扱いとし対戦成績は 0：15 となる。
 - （4）怪我防止の観点から、試合開始及び試合再開時のフェイスオフの際には、G

K用の防具を装着した選手がゴールを守ることとする。

(5) 試合途中で7点差がついた場合は、次のフェイスオフからランニングタイムに変更して行う。

(6) Aプール全試合では、ゲームスーパーバイザー(GSV)を配置することとし、試合中にゲームミスコンダクトペナルティーなどの重大なペナルティーをレフェリーが課していないとGSVが判断した場合には懲戒委員会に報告し審議の対象とする。

7 表彰 各プール優勝チームには賞状、トロフィーを授与する。

8 参加料 1チーム 22,000円

9 申込方法 (1) 申込期限: 2025年(令和7年)9月12日(金) 正午 まで

(2) 申込先: 〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番5号

札幌市中島体育センター内 (一財)札幌アイスホッケー連盟

mailto:sihfsapporo@coffee.ocn.ne.jp

(3) 振込口座: 北洋銀行札幌東支店 普通預金 0167273

(一財)札幌アイスホッケー連盟

※ 参加申込書に必要事項を記入し、申込先へメールすること。(郵送・FAX不可)
同時に参加料も振り込むこと。口座名(チーム名)は正確に記入すること。

※ 申込書の送付、参加料の振込の両方が完了したチームを参加チームとみなし、
申込期限経過後は一切受理しないので、期限を遵守のこと。

10 監督会議(競技方法説明) 9月19日(金) 19:00～ 中島体育センター 講堂
(リンクアサインミーティング席上)

11 問合せ先 (一財)札幌アイスホッケー連盟 Tel011-531-7765 (月水金 10時～17時)

12 その他 (1) 試合時のリンク使用料は試合をする2チームで折半し支払うこととする。

(2) 出場するチームは、オフィシャルへ試合開始前に当日の試合に参加する選手を
記載したメンバー表を提出すること。

なお、メンバー表の様式は札ア連ホームページより(<http://sihf.jp>)ダウンロードし提出すること。その他の様式による提出は認めない。

(3) 出場チーム及び選手は参加申込時点で本大会への参加に同意したものとみなす。

(4) Aプールに参加する一般チーム上位に次年度の北海道アイスホッケー競技選手
権大会(B級・兼国体予選)全日本選手権アイスホッケー大会(B)予選会の
出場権を与える。

(5) 各チームでスポーツ安全保険などの傷害保険に必ず加入すること。

(6) 各試合のレフェリー及びラインパーソン（ラインズマン）1名はレフェリー委員会より派遣する。

もう1名のラインパーソン（ラインズマン）については当番チームに割り当てるので、必ず派遣すること。

また、各試合におけるオフィシャルについては、当番の2チームより3名ずつを派遣し計6名で担当すること。

業務内容はオフィシャルボックス内4名（各チーム2名：スコア2名・時計1名・シュート1名）、ペナルティボックス2名（各チーム1名）とし、ゴールジャッジは配置しない。なお、連盟派遣のオフィシャルを配置するので、その者の指示に従うこと。

また、ラインパーソン・オフィシャルともに理由の如何を問わず、派遣違反をした場合及び連盟派遣オフィシャルの指示に従わないなどの行為があった場合は、本大会の懲戒委員会における審議の対象とし、処分を決定する。

(7) 選手のレンタル制度について

この制度は、GKの不在による没収試合の防止と少人数のプレーヤーでの試合参加による疲労・ケガを少しでも防止することを目的とした制度であり、チーム力の強化を目的とした制度ではないことを理解の上、活用すること。

この制度を利用する場合、レンタル選手は1試合2名まで、今大会にエントリーしている同一プールまたはそれ以下のプールの選手を試合毎にレンタルすることができる。

なお、最も下のプールに関しては、レンタル選手の対象をひとつ上のプールまで認めることとし、大学プールはこの制度の対象外とする。

制度の不正利用が発覚した場合には、事案を懲戒委員会へ報告し、当該委員会における審議の対象とし、処分を決定する。

(8) ユニフォームの正常着用について

ユニフォームは、レンタル選手を含めて同じものを着用すること。

何らかの理由で同じユニフォームを揃えることが出来ない場合は、GKのみ異なるユニフォームを着用することを認めるが今後改善することを求める。

また、試合当日にユニフォームを忘れるなどやむを得ない場合は、限定的な措置として同系色の練習着に背番号をつけ、相手チーム・レフェリーの承諾を条件に出場を認めることとする。

なお、この場合を含め、ユニフォームに記載の名前が出場選手のものと異なる場合は、見えないように養生をすること。

(9) 申込書に記載した選手に限り、大会への出場選手登録とすることから、申込書に記載がなく、追加登録が認められていない選手の出場は認めない。

（レンタル選手にも適用する。）

チームから提出の参加申込書に選手の記載漏れがないように十分注意願います。

(10) 大会プログラムは、連盟ホームページに掲載します。参加チーム及び参加選手の

氏名も掲載されますが、参加申し込み頂いた時点で、そのチーム及び選手からは承諾を得られたものと致します。

(11) 個人情報及び肖像権に関して、次のように取り扱います。

ア)主催者及び当連盟は、個人情報の保護に関する法律及び関連法律・法令等を順守し個人情報を扱います。

なお、本大会の参加申込書により取得した個人情報は、主催者及び当連盟による大会結果・記録等の発表、主催者及び当連盟の公式ホームページ・SNSへの掲載、その他アイスホッケーの競技運営及びアイスホッケー競技に必要な連絡等に利用する。

イ)大会写真、競技結果・記録等は、主催者及び当連盟の公式ホームページ・SNSに掲載することがある。

ウ)参加申込書の提出をもって、個人情報及び肖像権に関する上記ア)イ)の取り扱いについて、承諾を得たものとする。

※ 注意事項：選手・役員・観戦者などの負傷や盗難については、当連盟として一切の責任を負わないので、参加チームにおいて管理を徹底すること。